



OLいしかわ

石川県オリエンテーリング協会事務局 孫田三郎 方
〒921-8117 金沢市緑ヶ丘 13-13 TEL:076-241-5582 E-mail:magota@mail.interq.or.jp

No.111
2014/11

平成26年度地図調査講習会

平成 26 年 6 月 22 日（日） 於：金沢市 ふれあいの里研修館

講習会担当 小林 力

オリエンテーリング用地図作成の基礎的な習得を目的とし、平成 26 年 6 月 22 日（日）に「金沢市キゴ山ふれあいの里」研修館を会場に行いました。

当日は、金沢大学生を中心に講義をしました。オリエンテーリング初心者が多かったこともあり、午前中にオリエンテーリングの地図規定、コントロール位置記号説明し、まず、オリエンテーリング競技で重要な地図のルールを学んでいただき、地図作成の流れの説明を行いました。

その後、午後から調査技術の基礎を習得してもらいました。

午後からの実技は、磁北線のための白図を用いて、基礎技術を学んでももらいました。調査経験がまったくない人や、少ない人にとっては、頭を悩ませる結果となってしまいましたが、地図についての理解をさらに深めることができた有意義な講習会になりました。

（講義）地図記号とは



（実技）歩測



(実技) コンパスワーク



(閉講) 修了書授与



第57回金沢市民体育大会 OL大会

平成 26 年 6 月 29 日 (日) 於：金沢市 キゴ山

市民体育大会委員 小林 力

本年も金沢市民体育大会が、金沢市キゴ山を会場として開催されました。

例年、クマ出没の有無が心配されますが、今年は出ていないとのこと。しかし、万が一を考え、念のため、山中は避けるようなコースとしました。

天気が心配されましたが、開会式の時には、パラパラと小雨が降る程度出、大丈夫だろうと考えていました。しかし、スタート直後にゲリラ豪雨のごとく大雨。皆、怪我なく帰ってこれるだろうか心配もしました。その後、レース中はたいして降らず安堵しました。好天ではない中、遠方からの参加も含め 80 名程の参加があり無事大会は終了しました。

【成績】

男子A (年齢制限なし)

	氏 名	タ イ ム	所 属
1位	石坂 翼樹	0時間25分16秒	金沢大学OLC
2位	増田 暁	0時間29分25秒	金沢大学OLC
3位	山本 大輝	0時間30分46秒	金沢大学OLC

女子A (年齢制限なし)

	氏 名	タ イ ム	所 属
1位	大津 真実	1時間16分32秒	金沢大学OLC
2位	野澤 麻乃	1時間36分32秒	金沢大学OLC

男子Bクラス(満40才以上)

	氏 名	タ イ ム	所 属
1位	大塚 雅三	0時間35分54秒	金沢OLK
2位	土屋 武	0時間39分34秒	
3位	森田 輝雄	0時間48分55秒	金沢OLK

女子B (満40才以上)

	氏 名	タ イ ム	所 属
1位	植木 典子	0時間56分52秒	金沢市
2位	城 亜津子	1時間24分25秒	金沢市
3位	牧谷 法子	1時間25分15秒	金沢市

初心者クラス(年齢制限なし)

	氏 名	タ イ ム	所 属
1位	植木 一也	1時間06分05秒	金沢OLK
2位	孫田 三郎	1時間10分21秒	金沢市

家族組

	氏 名	タ イ ム	所 属
1位	半井 秀 組	0時間21分22秒	金沢市民
2位	小林 舞香 組	1時間15分20秒	金沢市民

開会式



スタート



表彰式



閉会式



第66回 小松市民体育大会 オリエンテーリング競技

平成 26 年 7 月 6 日（日） 石川県小松市
小松市オリエンテーリング協会 佐野弘明

梅雨の晴れ間の良いコンディションの中、小松市憩いの森で小松市体OL大会が開催されました。小松市民大会と言っても、8割方は小松市外からの参加者で、小松市民のスタッフ5名はもっぱら運営に回りました。競技はABCの3クラスに白熱したレースが展開されました。特にAクラスには総勢28名が出場、その内訳は、金大生18名、金沢工大生4名、小松航空自衛隊3名、金沢OLK3名とレベルの高い顔ぶれとなりました。この中で、男子は新鋭の大や歩が36分17秒で優勝、2位に野崎信介、3位には金大OL部長の島倉侑志が入りました。そして女子は池嶋美佳と世界選手権を控えた五味あずさの一騎打ちとなり、五味選手が6秒差の49分11秒で壮行となる大会で勝利しました。五味選手は挨拶で、今日は少しツボってしまっただが、これを糧にして世界選手権では頑張りたいと抱負を述べられました。オリエンテーリングジュニア世界選手権ブルガリア大会、日本代表の五味選手の健闘を心から祈ります。さらにその他のクラスはBクラス4名とCクラス3名の少数参加でした。この中で特筆すべきはBクラス優勝者の根石修氏は小松市在住の高校教員、現在は県立翠星高校の山岳部顧問とのこと、今回は山岳部の練習にオリエンテーリングの地図読みが、練習になるのではと参加されました。感想はとても楽しく地図読みとOL競技が出来たと、山岳部員の練習にオリエンテーリングを活用したいと言われました。小松市OLKも高齢化と会員の減少に危惧している所ですが、今まさに登山ブームであり、この辺に愛好者の取込みに望みがあるのではと考えます。また小松市OLKスタッフとしては、憩いの

森トレインも 8 号バイパス以南が熊出没で使いづらくなり、憩いの森園内のみのトレインとしては、地図の精度、調査不足が表面化しています。来年 27 年春季には木場潟と共に全国植樹祭の会場にも予定され、園内の道も状態も変化しています。今後も憩いの森トレインをより魅力あるものにするためにも、地図の更新が必要になっています。その折は県協会の皆様にもご協力のほど、よろしくお願いします。

小松市民体育大会オリエンテーリング競技成績 2014.7.6 小松市憩いの森

男子 A

1 位	大 箭 歩	36 : 17	金大 1 年
2 位	野 崎 信 介	37 : 07	金大 2 年
3 位	島 倉 侑 志	38 : 09	金大 3 年
4 位	高 嶋 健 伍	38 : 30	金大 4 年
5 位	今 正 寛	40 : 08	金工大 2 年
6 位	増 田 暁	40 : 51	金大 3 年

男子 B

1 位	根 石 修	41 : 23	小松市
2 位	大 崎 正	1 : 18 : 00	野々市市

女子 A

1 位	五味あずさ	49 : 11	金大 3 年
2 位	池 嶋 美 佳	49 : 17	金大院生

女子 B

1 位	植 木 典 子	1 : 46 : 27	金沢市
-----	---------	-------------	-----

男子 C

1 位	植 木 一 也	1 : 11 : 35	金沢市
-----	---------	-------------	-----

石川県・金沢市
キッズ山Ⅲ
 g

第57回(平成26年度) 金沢市民体育大会

オリエンテーリング競技 (平成26年6月29日)

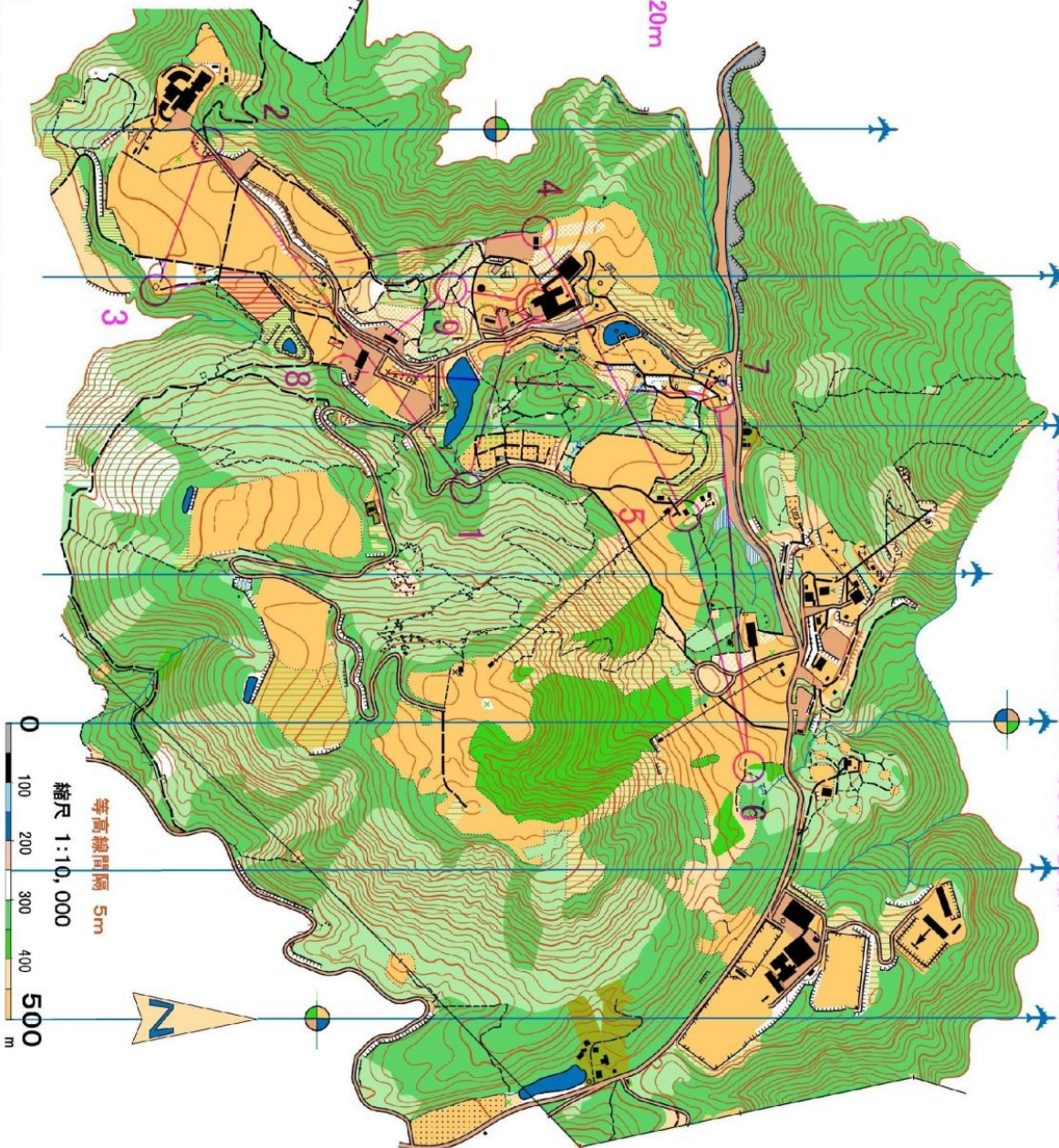
緊急連絡先 090-5683-6098 (小林 携帯)

- 男子A・女子A 4.530 km
 スタート 植生界の角
1. (31) 沢
 2. (32) 道と小道の分岐
 3. (33) 東屋の東の角
 4. (34) 柵の北の端
 5. (35) 建物の南東の角
 6. (37) 植生界の南西のふち
 7. (38) 道と小道の分岐
 8. (36) 柵の曲がり
 9. (39) 小道の分岐

フィニッシュまでテープ誘導なし 220m

地図記号

- 主要道路(舗装道路)
 道
 道
 小
 不明瞭な小径
 切り開き
 がけ・土堤・石壁
 建物・東屋・柵・塀
 植生界(明確・明瞭)
 水増・ヒコ・ミズ(沼・池)
 湿地、池、小さい池
 湧水点、川(渡河可・不可)
 穴、小四地、凹地
 さく、スキーリフト・送電線
 PCケーブル、鋼索切株、独立樹
 生
 森・林(夏通し不良・良好)
 開けた土地
 荒地・伐採地・植林地
 湿地
 通行可能
 歩行可能
 通行困難
 立入り・通行禁止
 牧場・耕作地、宅地、樹木園



この地図はオリエンテーリングのためのOMAP「キッズ山Ⅲ」を基に再調査したものである。調査期間 平成26年9月～平成27年9月
 製作者 石川県オリエンテーリング協会 (TO25-11-6) 作図者 小林 功(CCAD 8113 License No.4153)
 この地図の無断複製による使用を禁じます。

第66回小松市民体育大会
オリエンテーリング競技
平成26年7月6日(日)

憩いの森

石川県・小松市

A 4.430 km

△ 建物の南西の角

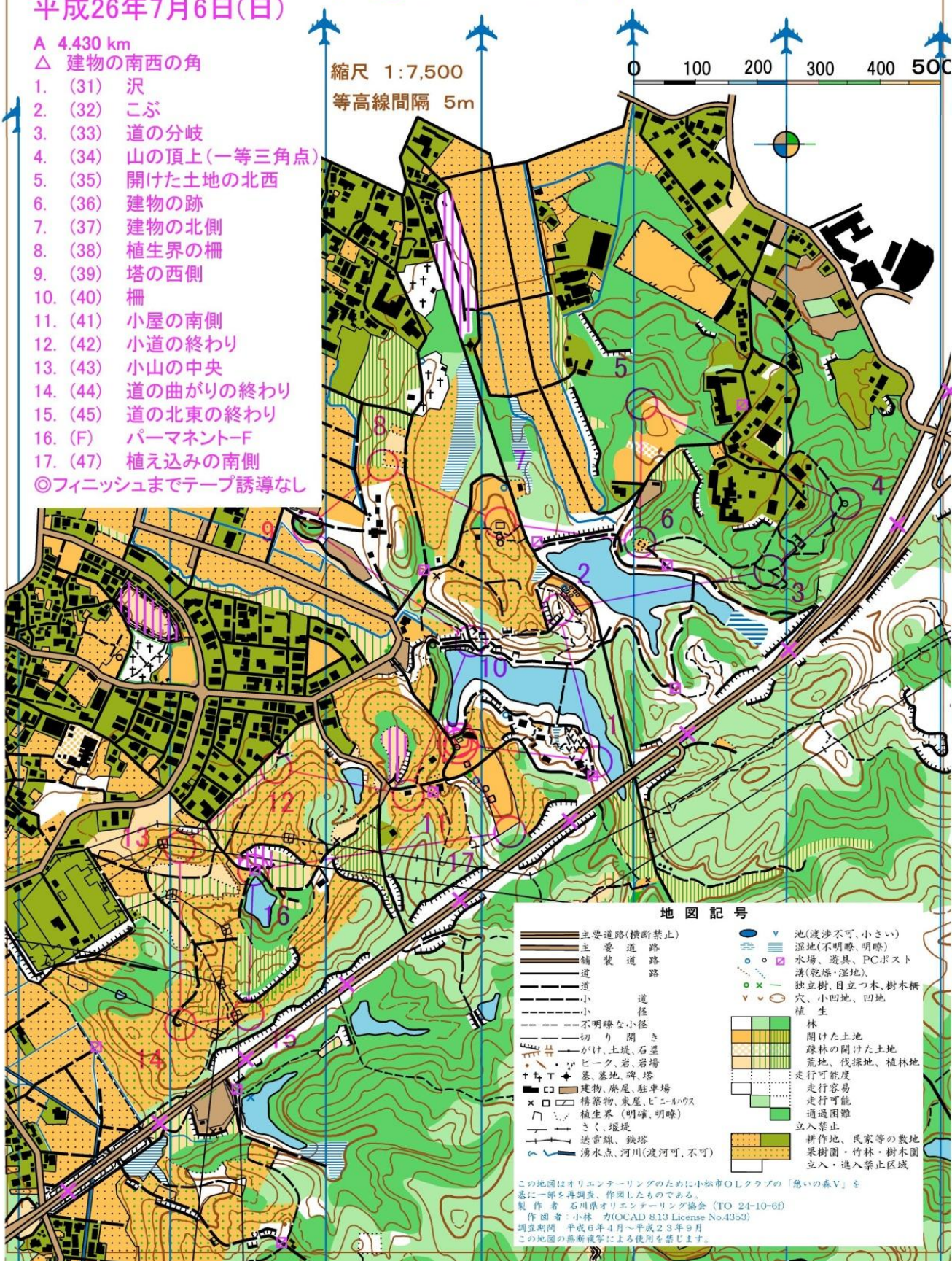
1. (31) 沢
2. (32) こぶ
3. (33) 道の分岐
4. (34) 山の頂上(一等三角点)
5. (35) 開けた土地の北西
6. (36) 建物の跡
7. (37) 建物の北側
8. (38) 植生界の柵
9. (39) 塔の西側
10. (40) 柵
11. (41) 小屋の南側
12. (42) 小道の終わり
13. (43) 小山の中央
14. (44) 道の曲がりの終わり
15. (45) 道の北東の終わり
16. (F) パーマネント-F
17. (47) 植え込みの南側

◎フィニッシュまでテープ誘導なし

縮尺 1:7,500

等高線間隔 5m

0 100 200 300 400 500



平成26年度北信越連協 通常総会

平成 26 年 7 月 19 日（土） 於：新潟県上越市 上越教育プラザ

小林 力

平成 26 年度北信越連協の通常総会が新潟県上越市で開催されました。

北信越でオリエンテーリング活動を行っている団体やクラブが集まり、意見交換などを行いました。

決算、予算報告といった、例年の議事に加え、今回は JOA の財政や全日本大会の今後のあり方の意見交換がされました。

JOA の財政については、毎年 200 万ほどの赤字が続いており、あと 3 年もすれば破綻するとの意見が聞かれました。今後は、競技登録費の値上げ、県協会への負担増など様々な意見が議論されているようです。石川県協会でも各種大会で、参加費を徴収するなどし、資金を得ることを考えていく必要があるかと思います。

もう一つ、JOA の重要行事として全日本大会の運営形態についての意見がありました。全日本選手権者を決めるコースと、若年層や高齢層のコースを一度に提供できるトレインの確保、コース設定、運営が難しいとの意見でした。地図の質や競技者の質がかなり上がっているため、都道府県やブロックで持ち回るのは各協会の負担が大きく体力を削っているのではないかと？数カ所の固定トレインを使い回す（学生インカレと同様な）方式がよいのではないかと？運営者は、各地から応援を喚べばよいのではないかと？との意見でした。

JOA があるからこそ、ルール統一された競技としてのオリエンテーリングがある。健康増進のための生涯スポーツとしてのオリエンテーリングでもある。両立させるためには難しい問題であると認識させられました。

次ページは、「オリエンテーリングマガジン 2014 年 6 月号」よりの転載です。

※長野県協会の木村氏の記事です。

50 年目に向けて

第40回全日本オリエンテーリング大会の実行委員長を行なった。終わった感想は「もう全日本大会は続かないだろう。」一方で全日本大会への参加者の期待は高い。10年後にも第50回全日本大会を継続開催するためにはどうすればよいのか。

変わらないものは残れない

毎年春に開催されてきた全日本オリエンテーリング大会だが、大きなシステムの変更なく40年が経過した。これだけ継続できているだけでも素晴らしいが、そのシステムも限界に達したようだ。40年の間には周辺環境や技術が大きく変化している。「変わらないものは生き残れない」

何が問題なのか

全日本大会に参加する選手は毎年数百人で推移している。イベント開催者から見ると、この人数は適正人数に思える。全日本大会に対する需要は高い。

いっぽうで全日本大会を主管したいという団体（都道府県協会）が無いのが実態だ。需要はあるのに開催危機にある。このミスマッチが問題なのだ。

主管を希望する団体がない

全日本大会は全国の各地区ブロックが持ち回りで開催している。関東甲信越ブロックにも定期的に全日本大会の開催依頼がやってくる。関東甲信越はこれに従って開催を続けていた。

ところが数年間に2013年度的全日本大会の開催県を決める会議の中で、どこも引き受ける県がなく全日本大会の開催県が決まらない状態となっていた。

そこで「年度内開催はできないけれど」という条件で、長野県より菅平高原開催が提案され、何とか繋がったのが、2014年4月27日に菅平高原（長野県）で開催された全日本大会である。

イベント開催の高いハードル

どうして全日本大会開催に立候補する団体がないのだろうか。いくつか理

由を考えてみた。簡単に言えば以下の2点に集約される。

- ・開催ハードルが高い。（能力不足）
- ・開催するメリットが少ない

開催メリットが少ない

金銭的収益は少ない

全日本大会の予算規模はおおよそ¥200万円程度である。経費もほぼ同額かかっている。主管にとって金銭的収益はないか乏しい。

他の事業に悪影響を及ぼしていることがある

マンパワーが全日本大会に割かれることにより、他の事業が縮小する傾向がある。

他の事業への有効活用が行われない

全日本大会は普段活動するフィールドとは別のフィールドを使用することが多い。（例：公園ではなく山奥の広大なトレイン）

このため、全日本大会で残された資産が、その後有効活用されている例が少ない。

開催ハードルが高い

現在的全日本大会の基本コンセプトは以下の4つで構成されている。

- ・毎年開催
- ・地方持ち回り
- ・年齢別選手権
- ・日本選手権

毎年開催の需要

当然のように毎年開催されている全日本大会であるが、本当に毎年開催しなくてはならないか。

日本選手権（ロングディスタンス）としての需要

日本選手権クラス「21E」とその予選としての「21A」クラス、ジュニア選手権クラス「20E」とその予選としての「20A」クラス。この実施は最長距離10km超を実現するだけの広大なトレインと、公平な競技を実現するだけの精密な地図が要求されている。この準備には膨大な金額が必要である。まともにこの範囲の地図を準備したら¥200万ではとても足りない。

年齢別選手権としての需要

「みんなのスポーツ」の理念を実現するために多数のコースが必要となる。10km超のコースから1km程度のコースまでを同時に、しかも安全に実現するためには多数の運営リソースが必要となる。

地方持ち回りの需要

地方持ち回りのメリットはいくつかあるが、現状では運営力確保、競技性確保が課題となっている。

地方持ち回りのメリット。

- 公平性の確保
- スポーツツーリズムの推進
- 参加者へのゆとり（QOL）提供

現状

全日本大会を運営した都道府県協会は疲弊し、その後の活動に影響が出ている。全日本大会を引き受けた地方によっては実施したメリットは少なく、デメリットが目立つ。

全日本大会は何を目指すのか

これらの問題を討議し、全日本大会の開催意義を再定義するためにJOA内部で検討が開始される。1年後には何らかの結論を出すつもりだ。

検討にあたってはパブリックコメントを求めることになる。そこでは意見のあるかたの発言を期待したい。

いずれにせよ、具体的に全日本大会が開催不能になってから議論を開始するのでは遅すぎる。今のローテーションでゆくと3年後の全日本大会は再び関東ブロックに巡ってくる。カウントダウンはすでに始まっているのだ。

（木村佳司）

第66回石川県民体育大会 OL大会

平成 26 年 8 月 10 日（日） 於：津幡町 あがたの森

県民体育大会委員 小林 力

第 66 回石川県民体育大会夏季大会は 8 月 10 日、津幡町を会場にオリエンテーリング競技を行う予定でした。

しかし、台風接近のため、石川県体育協会の判断で、屋内外全ての競技が中止となりました。参加者の移動の安全を考えての判断です。

7 市 3 町から選手、役員総勢 170 名余が参加予定でしたが、残念な結果になりました。

平成 27 年度は、会場を中能登町に移しての開催となります。

初任研OLを指導して

平成 26 年 7 月 31 日(木)、8 月 6 日(水)、8 月 20 日(水) 白山市 白山青年の家

森田 輝雄

石川県内の公立学校に新しく採用された先生方を、毎年学校の夏休み期間中に三泊四日の宿泊研修を行っている。近年採用の先生方も増え、1 シーズン 3 回に分けて、鶴来町の白山青年の家で行っている。その研修プログラムに OL が採用されて 6 年が過ぎた。主催者である石川県教育センターでは「野外活動の体験を」とこの OL を取り入れたらいい。ハイキングのような少年自然の家などで行われている OL を予想していたらいい。

個人的に頼まれたからには、本格的な OL を目指してカリキュラムを組んだ。一年目には所長や担当指導主事も驚いたが、参加された先生方から好評の声があり、次年度からも継続されたようだ。確かに熊が出没するかもしれない未知の山野を単独で放り出すため、不安があったのは事実のようだ。しかし、それ以降 6 年間も続いているので、この研修は価値があると判断されたのだろう。

この間、私として改善した点は、OL そのものを指導するのではなく、OL を通して野外活動の指導者としての立場をメインにすえた。すなわち遠足などの引率者としての留意点や子供たちへの興味づけのテクニック指導も盛り込んだ。具体的にはスタート直後の主要道路の横断に係員を配置することや誘導コントロールの設置など、事前に危険性を可能な限り取り除く配慮の大切さを指導した。また興味づけとして、個人で競争させるだけでなく、各クラスの順位に得点をつけ班で競わせたりもした。賞品は大中小のスイカであり、その後の班ごとのバーベキューに役立たせる演出であった。

今後も、この OL 研修が継続される保証はないが、依頼され続けるかもしれない。そこで OL 指導員も世代交代をしなければならない。一度に 3 名全員入れ替える訳にもいかず、今年は大塚孝氏に代わって山越順平氏、来年は藤田弘氏、再来年は森田輝雄氏と順次交代したらと思っている。ただし、主催者からの依頼があつての話である。

いずれにしても OL に興味を持つ若い先生方や子供たちが増えることを願ってやまない。

(講義)



(スタート)



(競技)



(ゴール)



(成績)



(表彰)



この地図はオリエンテeringのためのOマップ「あがたの森B6」を基に一部を再調査、作図したものである。
製作者 石川県オリエンテering協会 (TO 24-10-IIIc) 作図者：小井 力(IQAD 819 License No.4353)
この地図の無断複写による使用を禁じます。 調査期間 平成10年 4 月～平成26年7月

石川県・輪舞・踊

オリエンテーリング競技

平成26年8月10日

緊急連絡先

090-5683-6098

(小林 携帯)

一般女子 3.430 km
スタート 道と植生界の分岐
1. (120) 沢

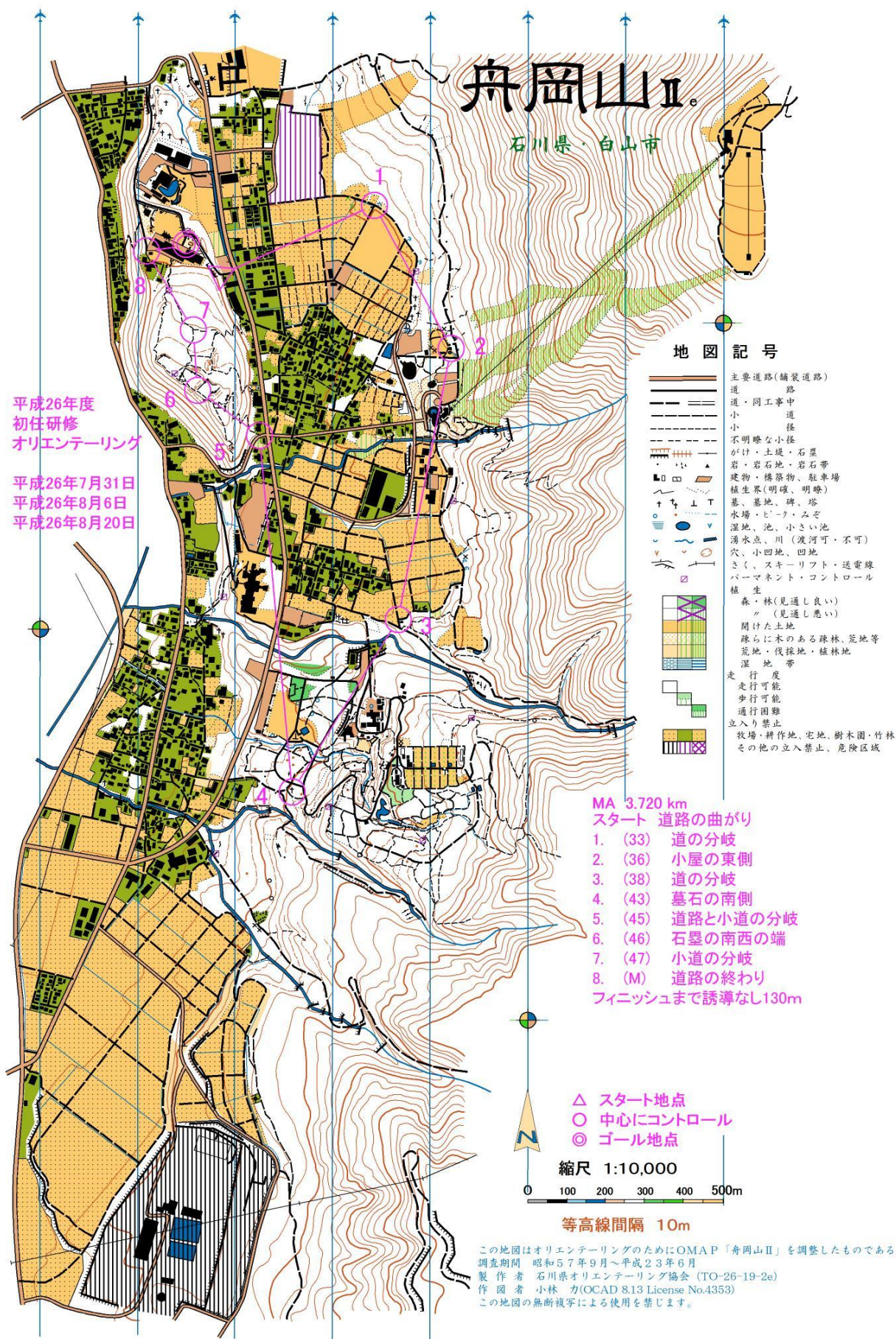
1. (120) 沢
2. (121) こぶの上
3. (122) 建物の東の角
4. (116) 道の終わり
5. (112) 植生界の南の角
6. (113) 建物の南の角
7. (118) 道の終わり
8. (117) 道の終わり
9. (111) 植生界の北の角

フィニッシュまで誘導なし110m



この地図はオリエンテeringのためのOマップ「あがたの森Ⅲb」を基に一部を再調査、作図したものである。
製作者 石川県オリエンテering協会 (TO 24-10-Ⅲc) 作図者: 小林 力(OCAD 8.13 License No.4353)
この地図の無断複写による使用を禁じます。

平成10年4月～平成26年7月

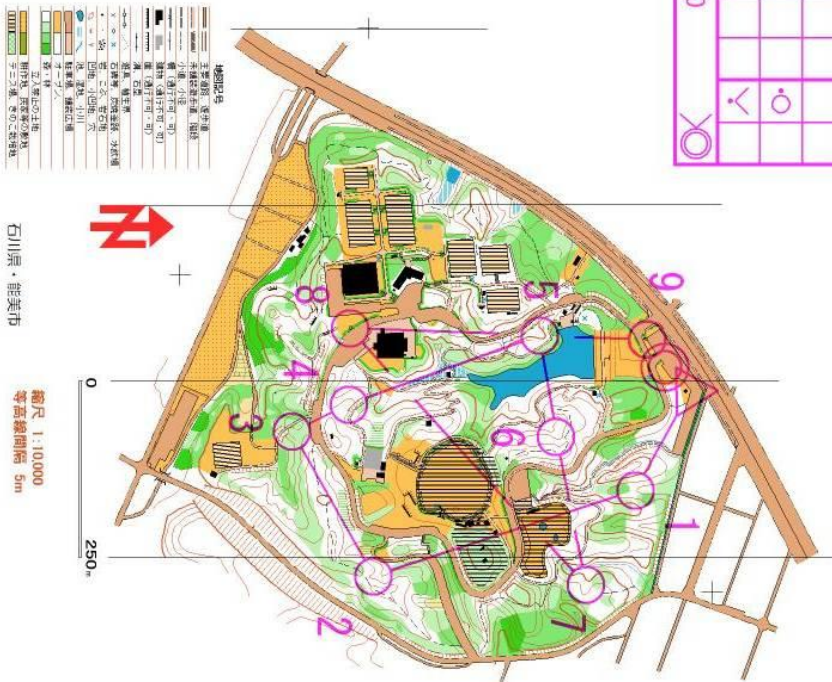


コース 4	2,480	
▽		△
1 116	ハ	
2 118	ハ	
3 119	ハ	
4 120	ハ	
5 121	ハ	
6 122	ハ	
7 117	ハ	
8 124	○	○
9 123	▽	▽
○	50	○

辰口丘陵公園

平成26年度 全日本リレーセ
平成26年9月7日

緊急連絡先
090-5683-6098 (小林 携帯)



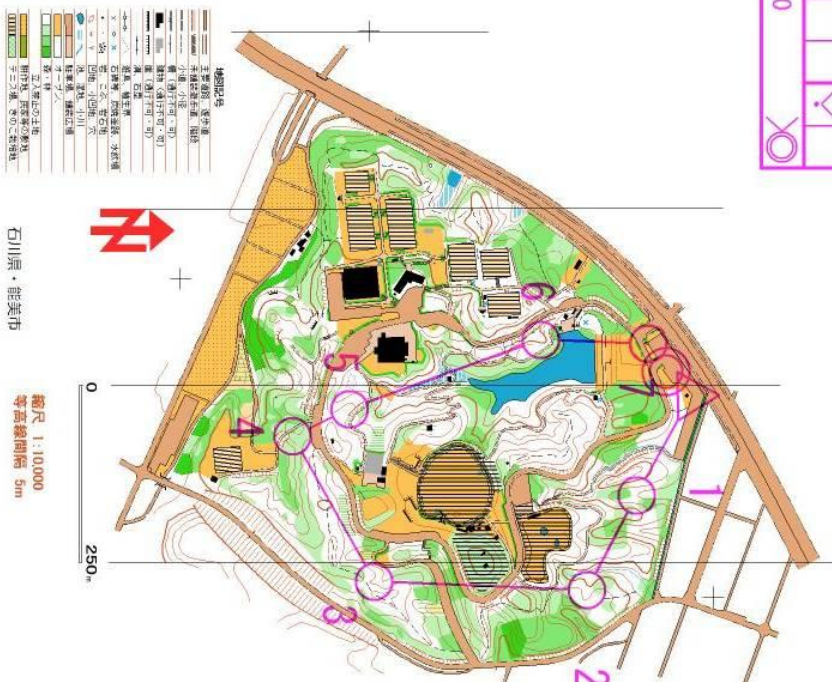
この地図は、辰口丘陵公園の地形図を基に作成されたもので、実際の地形と異なる場合があります。また、この地図は、辰口丘陵公園の管理委員会が作成したもので、著作権は同委員会にあります。

コース 2	1,420	
▽		△
1 116	ハ	
2 117	ハ	
3 118	ハ	
4 119	ハ	
5 120	ハ	
6 121	ハ	
7 123	▽	▽
○	50	○

辰口丘陵公園

平成26年度 全日本リレーセ
平成26年9月7日

緊急連絡先
090-5683-6098 (小林 携帯)



この地図は、辰口丘陵公園の地形図を基に作成されたもので、実際の地形と異なる場合があります。また、この地図は、辰口丘陵公園の管理委員会が作成したもので、著作権は同委員会にあります。

平成26年度全日本リレー石川県セレクション

平成 26 年 9 月 7 日(日) 能美市 辰口丘陵公園

小林 カ

平成 26 年 12 月 7 日(日) に岐阜県中津川市で開催予定の「第 23 回全日本リレーオリエンテーリング大会」の石川県選手の選考会を開催しました。

例年、加賀市の「加賀海岸」で開催していましたが、松食い虫の被害により、松林が伐採され、かつての良質のトレインが失われ（ほぼ全域で通行困難な D ヤブになっています）会場変更となりました。

去年は、台風接近で警報も発令されたため、開催したい気持ちもありましたが、やはり、参加者の安全確保を第一と思い、天候は荒天と判断し、大会中止を決定しました。

今回は、秋晴れのもと、金大生を中心に参加いただき、日頃の練習成果を発揮いただきました。

トレインが狭く、地図交換を行う 2 マップ方式とし、距離や競技時間を調整しました。

今回のセレクション結果と、セレクションには参加できなかったが出場意思のある選手をあわせて考慮し、選手団を派遣したいと思います。

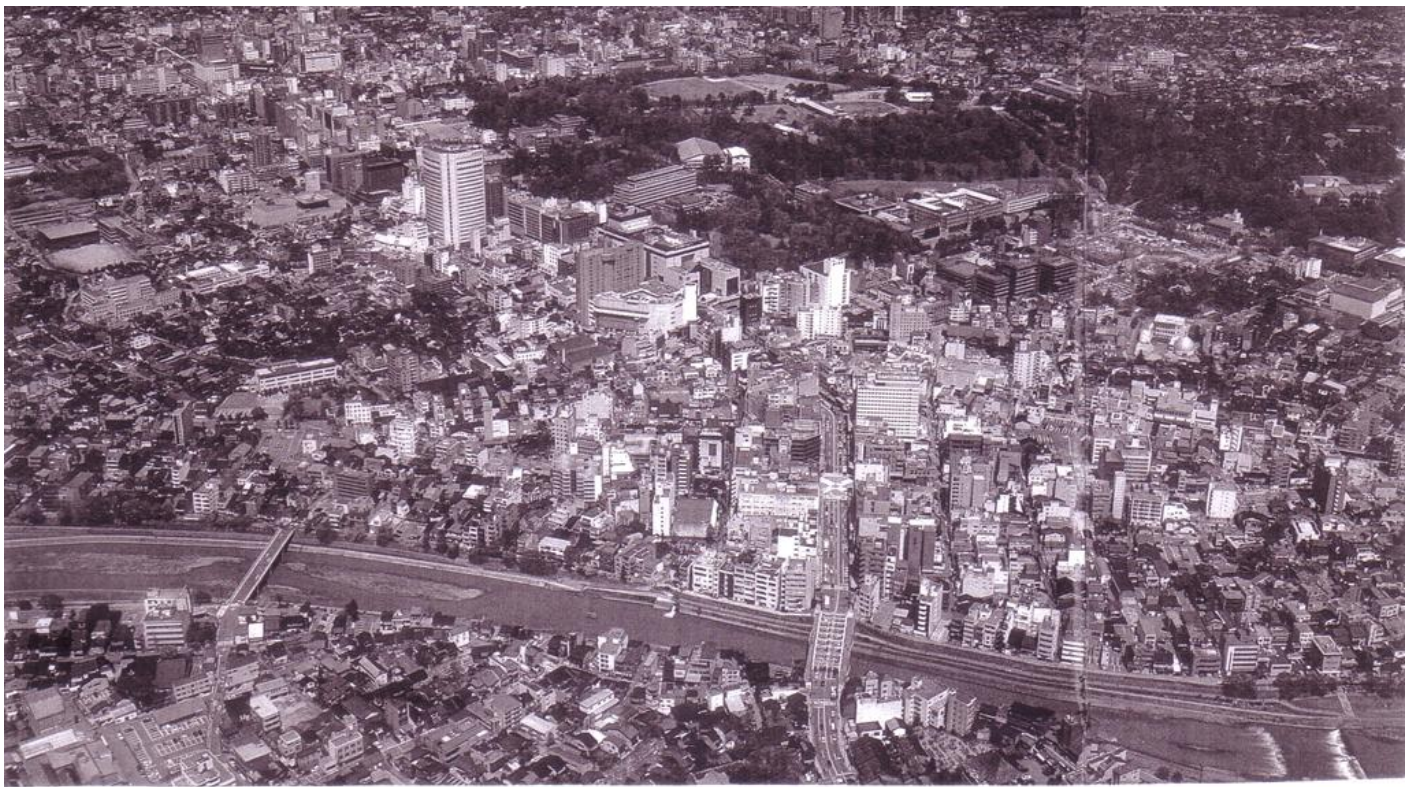
選手として選ばれた方々には、上位入賞を期待します。

《 information 》

【インカレロング 2014 が福井県あわら市で開催】

平成 26 年 10 月 12 日に福井県あわら市の「トリムパークかなづ」で日本学生オリエンテーリング選手権大会ロング・ディスタンス競技部門が開催されました。

金沢大学も活躍しました。



まち
都市が元気だから会社も元気

米沢電気工事株式会社

本社/ 〒921-8588 金沢市進和町 32 番地 076-291-5200 (代)

支店/ 東京 名古屋 大阪

営業所/ 埼玉 富山 福井 新潟 九州 白山 小松 能登

<http://www.yonezawa.co.jp>

米沢電気グループ

北星産業株式会社

株式会社テクノブレーン

北斗油送株式会社

大和商事(株)(しあわせの湯2)

大和タクシーコールネット(株)

株式会社米沢エナジーマネジメントサービス

石川日産自動車販売株式会社

社会福祉法人若松保育園

大和タクシー株式会社

株式会社米沢ビルシステムサービス

藤井商事株式会社

株式会社オータム(しあわせの湯)

大和自動車交通株式会社

株式会社日産プリンス金沢

株式会社金沢観光

